

クロス表

			16				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	8	3	1		12
		年齢の%	66.7%	25.0%	8.3%		100.0%
	40代	度数	4	4	2		10
		年齢の%	40.0%	40.0%	20.0%		100.0%
	50代	度数	4	2	1		7
		年齢の%	57.1%	28.6%	14.3%		100.0%
	60代	度数	2	3		1	6
		年齢の%	33.3%	50.0%		16.7%	100.0%
合計		度数	19	14	4	1	38
		年齢の%	50.0%	36.8%	10.5%	2.6%	100.0%

クロス表

			17				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	7	2	3		12
		年齢の%	58.3%	16.7%	25.0%		100.0%
	40代	度数	4	4	2		10
		年齢の%	40.0%	40.0%	20.0%		100.0%
	50代	度数	4	2	1		7
		年齢の%	57.1%	28.6%	14.3%		100.0%
	60代	度数	1	3	1	1	6
		年齢の%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	17	13	7	1	38
		年齢の%	44.7%	34.2%	18.4%	2.6%	100.0%

クロス表

			18				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	6	6			12
		年齢の%	50.0%	50.0%			100.0%
	40代	度数	4	6			10
		年齢の%	40.0%	60.0%			100.0%
	50代	度数	4	2	1		7
		年齢の%	57.1%	28.6%	14.3%		100.0%
	60代	度数	2	3		1	6
		年齢の%	33.3%	50.0%		16.7%	100.0%
合計		度数	17	19	1	1	38
		年齢の%	44.7%	50.0%	2.6%	2.6%	100.0%

加入表

			19				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	7	3	2		12
		年齢の%	58.3%	25.0%	16.7%		100.0%
	40代	度数	4	6			10
		年齢の%	40.0%	60.0%			100.0%
	50代	度数	2	5			7
		年齢の%	28.6%	71.4%			100.0%
	60代	度数	1	4		1	6
		年齢の%	16.7%	66.7%		16.7%	100.0%
合計		度数	15	20	2	1	38
		年齢の%	39.5%	52.6%	5.3%	2.6%	100.0%

加入表

			20				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	9	2	1		12
		年齢の%	75.0%	16.7%	8.3%		100.0%
	40代	度数	5	3	2		10
		年齢の%	50.0%	30.0%	20.0%		100.0%
	50代	度数	3	3	1		7
		年齢の%	42.9%	42.9%	14.3%		100.0%
	60代	度数	1	4		1	6
		年齢の%	16.7%	66.7%		16.7%	100.0%
合計		度数	20	13	4	1	38
		年齢の%	52.6%	34.2%	10.5%	2.6%	100.0%

加入表

			21				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	6	3	1	2	12
		年齢の%	50.0%	25.0%	8.3%	16.7%	100.0%
	40代	度数	3	4	3		10
		年齢の%	30.0%	40.0%	30.0%		100.0%
	50代	度数	3	3			6
		年齢の%	50.0%	50.0%			100.0%
	60代	度数	1	4		1	6
		年齢の%	16.7%	66.7%		16.7%	100.0%
合計		度数	15	15	4	3	37
		年齢の%	40.5%	40.5%	10.8%	8.1%	100.0%

クロス表

			22				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	6	4	2		12
		年齢の%	50.0%	33.3%	16.7%		100.0%
	40代	度数	3	4	2	1	10
		年齢の%	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	100.0%
	50代	度数	6		1		7
		年齢の%	85.7%		14.3%		100.0%
	60代	度数	2	2	1	1	6
		年齢の%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	19	11	6	2	38
		年齢の%	50.0%	28.9%	15.8%	5.3%	100.0%

クロス表

			23				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	1	1		3
		年齢の%	33.3%	33.3%	33.3%		100.0%
	30代	度数	6	4	1	1	12
		年齢の%	50.0%	33.3%	8.3%	8.3%	100.0%
	40代	度数	3	5	1	1	10
		年齢の%	30.0%	50.0%	10.0%	10.0%	100.0%
	50代	度数	3	2	2		7
		年齢の%	42.9%	28.6%	28.6%		100.0%
	60代	度数	2	2	1	1	6
		年齢の%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	15	14	6	3	38
		年齢の%	39.5%	36.8%	15.8%	7.9%	100.0%

クロス表

			24				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	6	5	1		12
		年齢の%	50.0%	41.7%	8.3%		100.0%
	40代	度数	3	4	2	1	10
		年齢の%	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	100.0%
	50代	度数	2	3	1	1	7
		年齢の%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	100.0%
	60代	度数	2	2	1	1	6
		年齢の%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	14	16	5	3	38
		年齢の%	36.8%	42.1%	13.2%	7.9%	100.0%

加入表

			25				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数 年齢の%		3 100.0%			3 100.0%
	30代	度数 年齢の%	8 66.7%	4 33.3%			12 100.0%
	40代	度数 年齢の%	5 50.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	10 100.0%
	50代	度数 年齢の%	5 71.4%	2 28.6%			7 100.0%
	60代	度数 年齢の%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	6 100.0%
	合計	度数 年齢の%	19 50.0%	15 39.5%	2 5.3%	2 5.3%	38 100.0%

加入表

			26				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数 年齢の%	2 66.7%	1 33.3%			3 100.0%
	30代	度数 年齢の%	9 75.0%	3 25.0%			12 100.0%
	40代	度数 年齢の%	5 50.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	10 100.0%
	50代	度数 年齢の%	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%		7 100.0%
	60代	度数 年齢の%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	6 100.0%
	合計	度数 年齢の%	23 60.5%	9 23.7%	4 10.5%	2 5.3%	38 100.0%

加入表

			27				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数 年齢の%	1 33.3%	2 66.7%			3 100.0%
	30代	度数 年齢の%	8 66.7%	4 33.3%			12 100.0%
	40代	度数 年齢の%	5 50.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	10 100.0%
	50代	度数 年齢の%	5 71.4%	2 28.6%			7 100.0%
	60代	度数 年齢の%	3 50.0%	2 33.3%		1 16.7%	6 100.0%
	合計	度数 年齢の%	22 57.9%	12 31.6%	2 5.3%	2 5.3%	38 100.0%

加入表

			28				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	9	3			12
		年齢の%	75.0%	25.0%			100.0%
	40代	度数	4	3	2	1	10
		年齢の%	40.0%	30.0%	20.0%	10.0%	100.0%
	50代	度数	6	1			7
		年齢の%	85.7%	14.3%			100.0%
	60代	度数	2	2		1	5
		年齢の%	40.0%	40.0%		20.0%	100.0%
合計		度数	22	11	2	2	37
		年齢の%	59.5%	29.7%	5.4%	5.4%	100.0%

加入表

			29				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	7	5			12
		年齢の%	58.3%	41.7%			100.0%
	40代	度数	2	3	5		10
		年齢の%	20.0%	30.0%	50.0%		100.0%
	50代	度数	2	4			6
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	60代	度数	1	2	2	1	6
		年齢の%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	14	15	7	1	37
		年齢の%	37.8%	40.5%	18.9%	2.7%	100.0%

加入表

			30				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	7	4	1		12
		年齢の%	58.3%	33.3%	8.3%		100.0%
	40代	度数	4	4	2		10
		年齢の%	40.0%	40.0%	20.0%		100.0%
	50代	度数	3	2	1		6
		年齢の%	50.0%	33.3%	16.7%		100.0%
	60代	度数	2	1	2	1	6
		年齢の%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	17	13	6	1	37
		年齢の%	45.9%	35.1%	16.2%	2.7%	100.0%

加入表

			31				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	7	3	2		12
		年齢の%	58.3%	25.0%	16.7%		100.0%
	40代	度数	3	4	3		10
		年齢の%	30.0%	40.0%	30.0%		100.0%
	50代	度数	2	3	1		6
		年齢の%	33.3%	50.0%	16.7%		100.0%
	60代	度数	2	2	1	1	6
		年齢の%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	15	14	7	1	37
		年齢の%	40.5%	37.8%	18.9%	2.7%	100.0%

加入表

			32				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	8	3	1		12
		年齢の%	66.7%	25.0%	8.3%		100.0%
	40代	度数	3	3	4		10
		年齢の%	30.0%	30.0%	40.0%		100.0%
	50代	度数	2	4			6
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	60代	度数	1	3	1	1	6
		年齢の%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	15	15	6	1	37
		年齢の%	40.5%	40.5%	16.2%	2.7%	100.0%

加入表

			33				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	11	1			12
		年齢の%	91.7%	8.3%			100.0%
	40代	度数	5	3	1	1	10
		年齢の%	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%	100.0%
	50代	度数	6				6
		年齢の%	100.0%				100.0%
	60代	度数	2	1	2	1	6
		年齢の%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	26	6	3	2	37
		年齢の%	70.3%	16.2%	8.1%	5.4%	100.0%

加算表

			34				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	11		1		12
		年齢の%	91.7%		8.3%		100.0%
	40代	度数	5	3	2		10
		年齢の%	50.0%	30.0%	20.0%		100.0%
	50代	度数	4	1	1		6
		年齢の%	66.7%	16.7%	16.7%		100.0%
	60代	度数	1	2	2	1	6
		年齢の%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	23	7	6	1	37
		年齢の%	62.2%	18.9%	16.2%	2.7%	100.0%

加算表

			35				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	5	5	2		12
		年齢の%	41.7%	41.7%	16.7%		100.0%
	40代	度数	3	2	5		10
		年齢の%	30.0%	20.0%	50.0%		100.0%
	50代	度数	3	3			6
		年齢の%	50.0%	50.0%			100.0%
	60代	度数	1	2	2	1	6
		年齢の%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	13	14	9	1	37
		年齢の%	35.1%	37.8%	24.3%	2.7%	100.0%

加算表

			36				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	4	6	2		12
		年齢の%	33.3%	50.0%	16.7%		100.0%
	40代	度数	3	4	3		10
		年齢の%	30.0%	40.0%	30.0%		100.0%
	50代	度数	3	3			6
		年齢の%	50.0%	50.0%			100.0%
	60代	度数	1	3	1	1	6
		年齢の%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	12	18	6	1	37
		年齢の%	32.4%	48.6%	16.2%	2.7%	100.0%

クロス表

			37				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	10	1	1		12
		年齢の%	83.3%	8.3%	8.3%		100.0%
	40代	度数	5	2	2		9
		年齢の%	55.6%	22.2%	22.2%		100.0%
	50代	度数	5	1			6
		年齢の%	83.3%	16.7%			100.0%
	60代	度数	1	3	1	1	6
		年齢の%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	22	9	4	1	36
		年齢の%	61.1%	25.0%	11.1%	2.8%	100.0%

クロス表

			38				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	10	1	1		12
		年齢の%	83.3%	8.3%	8.3%		100.0%
	40代	度数	5	4		1	10
		年齢の%	50.0%	40.0%		10.0%	100.0%
	50代	度数	4	2			6
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	60代	度数	1	4		1	6
		年齢の%	16.7%	66.7%		16.7%	100.0%
合計		度数	21	13	1	2	37
		年齢の%	56.8%	35.1%	2.7%	5.4%	100.0%

クロス表

			39				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	1	2			3
		年齢の%	33.3%	66.7%			100.0%
	30代	度数	9	2	1		12
		年齢の%	75.0%	16.7%	8.3%		100.0%
	40代	度数	4	5	1		10
		年齢の%	40.0%	50.0%	10.0%		100.0%
	50代	度数	4	2			6
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	60代	度数	1	3	1	1	6
		年齢の%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	100.0%
合計		度数	19	14	3	1	37
		年齢の%	51.4%	37.8%	8.1%	2.7%	100.0%

加入表

			40				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	6	2	3	1	12
		年齢の%	50.0%	16.7%	25.0%	8.3%	100.0%
	40代	度数	4	2	4		10
		年齢の%	40.0%	20.0%	40.0%		100.0%
	50代	度数	2	3	1		6
		年齢の%	33.3%	50.0%	16.7%		100.0%
	60代	度数		2	3	1	6
		年齢の%		33.3%	50.0%	16.7%	100.0%
合計		度数	14	10	11	2	37
		年齢の%	37.8%	27.0%	29.7%	5.4%	100.0%

加入表

			41				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	8	4			12
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	40代	度数	5	3	2		10
		年齢の%	50.0%	30.0%	20.0%		100.0%
	50代	度数	4	2			6
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	60代	度数	1	2	2	1	6
		年齢の%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	20	12	4	1	37
		年齢の%	54.1%	32.4%	10.8%	2.7%	100.0%

加入表

			42				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	9	3			12
		年齢の%	75.0%	25.0%			100.0%
	40代	度数	5	2	3		10
		年齢の%	50.0%	20.0%	30.0%		100.0%
	50代	度数	3	3			6
		年齢の%	50.0%	50.0%			100.0%
	60代	度数	1	2	2	1	6
		年齢の%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	20	11	5	1	37
		年齢の%	54.1%	29.7%	13.5%	2.7%	100.0%

加入表

			43				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数 年齢の%	1 33.3%	2 66.7%			3 100.0%
	30代	度数 年齢の%	7 63.6%	3 27.3%	1 9.1%		11 100.0%
40代	度数 年齢の%	4 40.0%	2 20.0%	4 40.0%		10 100.0%	
	50代	度数 年齢の%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%		6 100.0%
60代	度数 年齢の%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	6 100.0%	
	合計	度数 年齢の%	18 50.0%	9 25.0%	8 22.2%	1 2.8%	36 100.0%

加入表

			44				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数 年齢の%	2 66.7%	1 33.3%			3 100.0%
	30代	度数 年齢の%	8 66.7%	3 25.0%	1 8.3%		12 100.0%
40代	度数 年齢の%	5 50.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	10 100.0%	
	50代	度数 年齢の%	4 66.7%	2 33.3%			6 100.0%
60代	度数 年齢の%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	6 100.0%	
	合計	度数 年齢の%	21 56.8%	9 24.3%	5 13.5%	2 5.4%	37 100.0%

加入表

			45				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
年齢	20代	度数 年齢の%	2 66.7%	1 33.3%			3 100.0%
	30代	度数 年齢の%	10 83.3%	1 8.3%	1 8.3%		12 100.0%
40代	度数 年齢の%	4 40.0%	4 40.0%	2 20.0%		10 100.0%	
	50代	度数 年齢の%	4 66.7%	2 33.3%			6 100.0%
60代	度数 年齢の%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	6 100.0%	
	合計	度数 年齢の%	21 56.8%	10 27.0%	5 13.5%	1 2.7%	37 100.0%

加入表

			46				合計
			大変適切な 項目である	やや適切な 項目である	あまり適切と はいえない 項目である	ほとんど適切 とはいえない 項目である	
年齢	20代	度数	2	1			3
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	30代	度数	10	1	1		12
		年齢の%	83.3%	8.3%	8.3%		100.0%
	40代	度数	4	4	1	1	10
		年齢の%	40.0%	40.0%	10.0%	10.0%	100.0%
	50代	度数	4	2			6
		年齢の%	66.7%	33.3%			100.0%
	60代	度数	1	2	2	1	6
		年齢の%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	21	10	4	2	37
		年齢の%	56.8%	27.0%	10.8%	5.4%	100.0%

(2) 実習先施設職員に対するコンピテンシー調査の概要

横山 豊治 (新潟医療福祉大学)

1) はじめに－調査の目的－

「社会福祉援助技術現場実習のコンピテンシーに関する調査票案 (Ver. 3)」(以下、「調査票案 (Ver. 3)」と略す) について、実習生を受け入れ、指導にあたる現場の職員 (以下、「実習指導者」記す) から見た場合にどのような評価や意見が得られるかを探るため、(社) 日本社会福祉士会の協力を得て、実習指導に携わる会員にこの「調査票案」への見解を求める調査を行ったので、その結果を報告する。

2) 調査方法

a) 調査対象

(社) 日本社会福祉士会会員で、同会主催の「第1期現場実習指導者養成研修」を受講している者 18 名全員を対象とした。

同会は、社会福祉士の有資格者のみを会員とする全国組織で、約 17,000 人 (2003 年 12 月 31 日現在 1,6953 人) の会員を有し、わが国のソーシャルワーカー団体全体の中でも最大の規模を有している。1)

同会では 1999 年度より会員向けの生涯研修制度をスタートさせ、ソーシャルワーカーとしてジネリックな資質を生涯に渡って研鑽し続ける「共通研修課程」と、その基盤の上で特定分野のスペシフィックな資質を磨く「専門分野別研修課程」を設けた。この「専門分野別研修課程」の研修プログラムとして、2003 年度から新たに実施され始めた研修のひとつが「現場実習指導者養成研修」であり、その受講資格と研修内容等は表 1 の通りである。

2) 3)

表1 日本社会福祉士会「現場実習指導者養成研修」の概要

【受講資格】	次に掲げる条件をすべて満たしている者 ① 日本社会福祉士会会員であること ② 生涯研修制度「共通研修課程」修了有効期間内であること ③ 本研修期間中に社会福祉援助技術現場実習の実習生を2名以上受け入れることが見込めること
【研修期間】	15ヶ月間（期間中に3回のスクーリング）
【研修方法】	通信教育による自宅学習、スクーリングによる講義と演習、実際の実習指導実践
【研修内容】	①現場実習概論（現場実習制度論・実習カリキュラム論） ②実習指導者論（実習指導概論・社会福祉士実践論・社会福祉士実践演習） ③実習マネジメント論（実習マネジメント概論・実習マネジメント演習） ④実習プログラミング論（実習プログラミング概論・実習プログラミング演習・実習プログラミング実践演習） ⑤実習スーパービジョン論（実習スーパービジョン概論・実習スーパービジョン演習・実習スーパービジョン実践演習）
【受講料】	78,000円（スクーリング宿泊費・交通費は含まず）

上記の「受講資格」②は、同会の生涯研修制度に基づいて「3年間で60単位（60時間）以上」の研修を行い、その記録を会の生涯研修センターに提出して「共通研修課程修了証明書」の交付を受けた者であって、その有効期間「3年」以内にある者—ということになる。

したがって、この「現場実習指導者養成研修」の受講者は、「社会福祉士資格を持ち、日本社会福祉士会の会員であり、少なくとも会員歴3年以上を経過していて、同会のジェネリックな研修（共通研修課程）を実行した上に実習指導者としての資質向上の意義ないし必要性を感じてそのための専門的な研修受講を希望した者」といえる。

また、「受講資格」③を満たす必要があることから、この研修受講者は実際に「社会福祉

援助技術現場実習」の実習生を受け入れ、指導にあたる事が可能な現場に勤務している者に限られ、社会福祉士養成制度上の実習指定施設に所属する社会福祉士であるということになる。(同会には福祉系大学・専門学校等に教員として勤務するような会員もいるが、この研修はそうした教育機関における実習指導担当教員向けの研修ではなく、あくまでも実習生受入施設側の実習指導担当職員を対象にしたものとなっている)

なお、今回調査対象とした18名は表2の通り全国各地の社会福祉士会支部に所属しており、特定の地域に偏在していない。

表2 調査対象者が所在する都道府県（社会福祉士会所属支部）

北海道	2名	滋賀県	1名
千葉県	2名	大阪府	1名
東京都	2名	兵庫県	1名
神奈川県	1名	広島県	1名
新潟県	2名	愛媛県	1名
福井県	1名	長崎県	1名
岐阜県	1名	沖縄県	1名
	計	18名	

b) 調査期間及び調査方法

調査期間は2003年12月18日～2004年1月9日で、調査方法は無記名のアンケートによる郵送調査法を用いた。ただし、所属機関の種別と職名は明記の上、回答を求めた。

アンケート調査票の発送数は18。そのうち、有効回答者数は11で、回収率は68.8%であった。

アンケート調査票の構成は、本稿末尾に添付した通りで、実習生向けに作成された「調査票案 (Ver. 3)」を示し、

その各評価項目について次の3段階のいずれに該当するかを問い、自由記述欄に「特定の項目に関する修正案

やお気づきの点、及び、全体を通じてのご意見や疑問点など」を記入するよう求めた。

表3 アンケート調査で回答を求めた「調査票案 (Ver. 3)」の評価項目に対する評価尺度

1	学生の自己評価項目として適当と思われる
2	文言を一部修正すれば学生の自己評価項目として適当と思われる
3	学生の自己評価項目としては適当ではないと思われる

3) 調査結果

a) 回答者の所属施設と職名

回答者 11 名が実習指導にあたる所属施設の種別とそこにおける職名は以下の通りであった。

表4 アンケート調査回答者の所属施設種別と職名

所属施設		職名	
・特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	3	・生活相談員 ・ソーシャルワーカー	2 1
・在宅介護支援センター	2	・相談員 ・ソーシャルワーカー	1 1
・知的障害者更生施設	2	・支援課長 ・支援課主任	1 1
・養護老人ホーム	1	・指導員	1
・児童養護施設	1	・施設長	1
・市町村社会福祉協議会	1	・社会福祉専門員	1
・不明 (記載なし)	1	・不明 (記載なし)	1

b) 各評価項目の設定に対する評価

回答者 11 名から得られた「評価票案 (Ver. 3)」の各評価項目に対する 3 段階評価の結果は表 5 の通りである。

この結果を、46 項目の 3 段階評価「1」「2」「3」に対して 11 名が 1 点ずつ投じる投票に見立てた場合、全 506 点のうち、「1」: 適当、「2」: 一部不適当、「3」: 不適当の各得点は 378、112、16 であり、これを 11 で除した値は 8.22、2.43、0.35 となる。

したがって、まず全体的な傾向として「1」という評価が多くを占め、「学生の自己評価項目として適当」と判断される項目が多く、逆に「3」という評価は全般にわずかで「学生の自己評価項目として不適当」とみなす回答は非常に少ないということがいえる。

次に A～F の分類ごとにみると、B の「実習準備態勢」と D の「ソーシャルワークコンピテンシー」については全ての評価項目にわたって「3」: 不適当とする回答が 1 件もなかった。

また、11名全員が一致して同じ評価をした項目は、Fの中のNo.40「観察・実践を踏まえた記録を書いている」とNo.41「適切にメモをとっている」の2項目のみであり、回答者の評価はいずれの項目も「1」：適当とするものであったが、その2項目ともFの「書く・話す・聴く・観察する技能」に分類されるコンピテンシーであった。

そのほか、11名という少ない回答者の評価が比較的大きく分かれたのはAの「基本的・社会的能力」であり、No.6「自分の苦手な人を避けたりせず、誰とでも協調性を持って接する」が10-1-0と「適当」の評価に集中したのを除いてこの分類の6項目のうち5項目で評価が割れていた。(No.1の6-4-1やNo.4の5-5-1など)

表5 アンケート調査結果(1) -各評価項目への3段階評価-

11名の回答をまとめた「評価」欄の見方

- 1 「学生の自己評価項目として適当と思われる」とした回答の数を示す
- 2 「文言を一部修正すれば学生の自己評価項目として適当と思われる」とした回答の数を示す
- 3 「学生の自己評価項目としては適当ではないと思われる」とした回答の数を示す

分類	分類名	No		評価
A	基本的・社会的能力	1	適切な礼儀が身についている	●●●●●● ○ ○○○ ■
		2	相手に応じた適切な話し方をする	●●●●●● ○ ○○ ■■
		3	適切な身なりや服装をする	●●●●●●●● ○○ ■
		4	心身ともに適切な状態を維持している	●●●●● ○○ ○○○ ■
		5	課題等を期日までに提出するよう行動している	●●●●●● ○ ○○○○

		6	自分の苦手な人を避けたりせず、誰とでも協調性を持って接する	●●●●●●●● ●● ○
B	実習準備 態勢	7	自己覚知ができるよう努力している	●●●●●●● ○ ○○○○
		8	様々な体験を自分なりに受け止め、その体験を解釈し、自らの行動につなげている	●●●●●●●● ○○○
		9	同じ失敗を何度も繰り返さないように取り組む姿勢がある	●●●●●●●● ○○○
		10	実習先施設等についての情報収集をしており、実習先施設等について理解し、施設等のイメージを把握している。	●●●●●●●● ● ○○
		11	実習先施設等の内外の関連するシステムについて把握している	●●●●●●●● ○○○○
		12	ソーシャルワーク実践とケアワーク実践、保育実践等との違いを理解している	●●●●●●●● ○○○
		13	自分なりの問題意識を持ち、実習についてのモチベーションを持っている	●●●●●●●● ●● ○
		C	実習計画 並びに実 習計画の 実行等	14
15	的確に実習計画書を作成する			●●●●●●●● ○○○
16	実習計画を意識した行動をとる			●●●●●●●● ●● ○
17	的確に実習計画の変更を行う			●●●●●●● ○ ○○○○
18	自分の日々の実習目標に関する成果を的確に評価する			●●●●●●●● ○○○ ■
19	実習終了時に、自分の全体の実習目標に関する成果を的確に評価する			●●●●●●●● ● ○ ■

		20	その日の実習体験内容の他に一日の実習の反省点、感想、指導を受けたこと、疑問点等についてまとめている	●●●●●●●● ●● ■
		21	実習中の不安やトラブルに的確に対応する	●●●● ○○○ ○○○ ■

分類	分類名	No		評価
D	ソーシャル ワーク コンピテ ンシー	22	ソーシャルワーク実践に関する知識、具体的な実践理論、技術を理解し、実習において実践している	●●●●●●●● ○○○
		23	社会全体のニーズと社会問題について理解し、実習において実践している	●●●●●● ○ ○○○○
		24	ソーシャルワークの専門性について理解し、実習において実践している	●●●●●●●● ○○○
		25	学校や実習の場で受けたスーパービジョンの結果を実習における専門性の向上に役立てようとしている	●●●●●●●● ○○○○
		26	実習において行う実践や様々な行動に責任が伴うことを自覚している	●●●●●●●● ● ○○
		27	ソーシャルワークの価値と倫理について理解し、実習において実践している	●●●●●●●● ● ○○
		28	人権、権利擁護について理解し、実習において実践している	●●●●●●●● ● ○○
E	ソシャ ル ワーク実 践	29	ケースに関する事実を客観的・主観的の両側面から捉えようとしている	●●●●●●●● ●● ○
		30	アセスメントスキルを修得している	●●●●●●● ○ ○○○ ■

プロセス	31	チームアプローチの視点を持っている	●●●●●●●●●● ○○○
	32	個々の利用者に応じた援助の展開の仕方を理解し、実習において実践している	●●●●●●●●●● ● ○○
	33	守秘義務を理解し、実習において実践している	●●●●●●●●●● ●● ○
	34	利用者の個別性を尊重している	●●●●●●●●●● ●● ○
	35	自分自身が行ったソーシャルワーク実践の結果に適切な評価をしている	●●●●●●●●●● ● ○○
	36	問題解決結果に対して客観的な評価をしている	●●●●●●●●●● ● ○○
	37	記録や情報を適切に管理している	●●●●●●●●●● ●● ○
F 書く・話す・聴く・観察する技能	38	実習ノートやケース記録、レポート等において、事実の羅列のみでなく、自分の見解を述べている	●●●●●●●●●● ●● ○
	39	観察・実践を踏まえた記録を書いている	●●●●●●●●●● ●●●●
	40	適切にメモをとっている	●●●●●●●●●● ●●●●
	41	効果的な言語的コミュニケーションを行う	●●●●●●●●●● ● ○ ■
	42	効果的な非言語的コミュニケーションを行う	●●●●●●●●●● ● ○ ■
	43	面接技術を習得している	●●●●●●●● ○ ○○ ■■
	44	傾聴スキルを習得している	●●●●●●●●●● ○ ■■

	45	利用者等を観察し、個々の特徴を捉えている	●●●●●●●●●● ○○○
	46	相手の言葉の背後にある気持ちやニーズ等に気づこうとしている	●●●●●●●●●● ○○ ■

続いて、全般的に「適当」とする回答が多かった中で、特に「適当」以外の回答が比較的多かった項目を挙げると、No.21「実習中の不安やトラブルに的確に対応」(4-6-1)、No.4「心身ともに適切な状態を維持」(5-1-1) No.1「適切な礼儀」(6-4-1)、No.2「相手に応じた適切な話し方」(6-3-2)、No.5「課題等を期日までに提出」(6-5-0)、No.7「自己覚知ができるよう努力」(6-5-0)、No.17「的確に実習計画の変更」(6-5-0)、No.23「社会全体のニーズと社会問題について理解し、実習において実践」(6-5-0)、No.30「アセスメントスキルを修得」(6-4-1)、No.43「面接技術を習得」(6-3-2)である。*文中の()内は(評価1の数-評価2数-評価3の数)

反対に、とりわけ「適当」という回答を多く集めた項目という意味で、「11人中10人以上が1:適当と回答した項目」を列挙すると以下の通りである。

表6 11人中10人以上から「適当」の回答を得た評価項目

分類	「評価票案 (Ver.3)」 の 評価項目	回答結果*
A	No.6 「苦手な人を避けず誰とでも協調」	10-1-0
B	No.13 「問題意識、モチベーション」	10-1-0
C	No.16 「実習計画を意識した行動」	10-1-0
	No.20 「一日の反省点、感想、指導内容、疑問等についてまとめ」	10-0-1
D	なし	
E	No.29 「ケースに関する事実を客観的・主観的の両側面から捉える」	10-1-0
	No.33 「守秘義務を理解し、実習において実践」	10-1-0
	No.34 「利用者の個別性を尊重」	10-1-0
	No.37 「記録や情報を適切に管理」	10-1-0
F	No.38 「実習ノート、レポート等に事実の羅列のみでなく自分の見解」	10-1-0
	No.39 「観察・実践を踏まえた記録」	11-0-0
	No.40 「適切にメモ」	11-0-0